

下水問題

問 上下水道と農業集落排水事業は

答 公平性を保ち安定した経営に努める



横田 孝穂 議員

【下水道事業について】

問 経営状況と今後の見通しは。

村長 現状は排水区域432・5ha、普及率90・1%、水洗化率75・4%です。建設事業費163億円、国庫補助金58億円、地方債84億円（残高62億円）、向こう10年間の年間償還額は4億7千万円です。計画では平成25年東部農集排水統合時に地方債の借入を行う以外大規模な予定はなく、今後も収入増を図り安定した経営に努めます。

問 平成22年度受益者負担金1億7900万円の

未済額処理対策は。

村長 未接続の土地に対する受益者負担金は法的には有効であるが、納入に対して理解が得られず、条例改正を行い、公平性を維持してききました。

建設水道課長 9月30日現在の未済額は、316件で1億5500万円。誓約書や内入金による処理を行い、応じないようであれば差し押さえ可能な体制整備を検討中です。会社倒産、自己破産、行方不明等の徴収不可能物件は、今年度不能欠損処理の予定です。受益者負担金に関する条例改正の目的とその根拠は。

建設水道課長 負担金を支払った人

と、当面は接続をしないという考えで支払いに応じない人との、不公平感を是正し、5年を経過すると成立する滞納債権の時効を、差し

押えによらず防ぐことが目的です。未払い3年経過後は加入分金に賦課替えをし、1・5倍の1㎡当たり1350円です。現在、賦課替え件数は539件で7500万円となっております。

【スノーハープの現状と活用について】

問 利用率・維持管理費と、今までの利用向上策と今後について。

村長 平成22年度利用者1万3300人、夏期7割、冬期3割であり臨時的経費を除くと1648万円余りです。野芝コートとして整備し貸出をしています。過去には圧雪車と雨天時の使用により芝に大きな損傷を受け、平成17年に1千万円程で養生しました。現在の球技利用は試合のみで1日3時間の制限をしています。利活用検討委

員会の提言内容は、水はけ対策、高低差のフラット化。メイン会場を400mトラック6レーン、100m8レーン、フィールド競技場を全天候（タータン）に改修。外周ランニングコースと西側ローラースキーコースの整備。ホタルの生育に係る施設改良も含めた東側法面等の整備。会場の出入口・スロープ等の整備やクロスカントリーコース沿いの森林整備等です。予備調査をし、将来維持管理費も考え財源は辺地債を予定しています。



白馬村浄化センター（大出） 1月26日